



令和4年度 第3回 全体会（令和5年3月22日開催）

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
1	岡村委員	【プレーパーク事業について】 巡回型を今後行うということだが、現在のもと津守小学校でおこなっているプレーパークはどのようなのか。	巡回型として中学校・公園等でも開催していくので、相対的にもと津守小学校での開催数は減少していくという状況です。今後どれくらいの頻度で開催するかなどは、今後の集客数や事業効果なども見ながら検討していきたいと思います。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (子育て支援)
2	尾上委員	【資料について】 プロジェクターに資料を映しての説明があったが、資料を紙でいただきたい。	—	説明内容について、より分かりやすく理解を深めていただくための補足としてプロジェクターで映し出す等の工夫を行っています。 必要でありましたら、プロジェクターでの資料もご提供いたしますので、お声がけください。	総務課
3	尾上委員	【西成区の人口動態について】 西成区の転入者数が増加しているということだが、転入してきた理由や転出の理由が分かれば教えて欲しい。	—	直接アンケートを行っているわけではありませんが、当区は交通アクセスが良好であり、また周辺区と比べ賃貸物件の賃料が安価であることなどから転入者が増加しているものと思われます。	窓口サービス課 (住民情報)
4	【意見票】 伊藤(悠)委員	【プレーパークの工夫点について】 子どもが「集える遊び場」を拡充することは賛成だが、巡回型開催と定点での開催を同時に行ってほしい。定点で行うことにより、子どもたちの拠り所、何かあった時に帰りたいと思える心の居場所が機能する、いつもそこにあることが大事だと思う。	こどもの居場所は選択肢が多いほうがいいのではないかという考えもあり、もと津守小学校での開催についてはそういった点も踏まえて総合的に考えていきたいと思っています。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (子育て支援)
5	【意見票】 伊藤(悠)委員	【プレーパークの事業評価の方法について】 プレーパークの説明の中で、「利用者数等により事業評価し」と説明があったが、数量評価だけでは、こどものニーズは読み取れない。質的評価が大事。 そのためには、子ども家庭庁でも掲げられる「こどもの意見をきく」ことが、西成らしさであり、検討していただけたらと思う。	事業効果の中には、こどもの居場所としての効果も考えていかないといけないと思っています。	大阪市においては、事業実施にあたり定量的な効果検証を求められることから数的な指標も見えていくこととなりますが、それだけでなく数字で測りにくい面についても参加者アンケートなどを工夫しながら考えていきたいと思っています。	保健福祉課 (子育て支援)

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
6	【意見票】 親川委員	【多文化共生について】 昨年に西成区社会福祉協議会が多文化共生に関する事業を開催し、展示や交流会が行われた。 今後、様々な国の言語・文化を学び、仲良く楽しく暮らしていける地域社会をめざすような事業や講演会、研修会などを開催する予定はあるのか。	—	今のところ、具体的な講演会やイベント等の開催については未定ですが、区内の外国人住民の割合が増えている現在、多文化共生の視点をもって進めていくことも必要であると考えています。	総務課
7	【意見票】 親川委員	【こども生活・まなびサポート事業】 小一プロブレムに対応する登校後の支援は学級運営にも効果が期待されるのではないかと。	—	令和5年度からこども生活・まなびサポート事業の拡充を行い、新たに低学年から学習姿勢を向上させるためのサポーターを配置し、2小学校でモデル実施しています。モデル校からは、児童の授業準備がスムーズになってきたなどの様子も上がっています。	保健福祉課 (子育て支援)
8	【意見票】 戸崎委員	【人口推移について】 尾上委員様のご意見で人口流出時の理由を書き出してもらい、という意見があった。個人情報の問題もあるかと思うが、情報や資料の材料に有効性があるのではないかと。	—	人口の流出入の状況について、必要に応じて区役所内で共有し、事業実施の検討材料としてまいりたいと考えております。	総務課 窓口サービス課 (住民情報)
9	【意見票】 戸崎委員	【あいりんセンターについて】 土地明渡請求訴訟に勝ち、あの地に若者や子育て世帯に認めてもらえるような施設を作れると西成区は改善されると思う。	—	あいりん総合センター跡地等活用につきましては、利活用にかかる基本構想(活用ビジョン)に基づき検討を進めております。敷地の北側の福利・にぎわいゾーンにおける住民の福利やにぎわいの創出、多目的広場の活用について地域の方々と対話をしながらボトムアップ方式によりまちづくりを進めていきます。	総合企画課
10	【意見票】 戸崎委員	【ものづくりマップについて】 テレビ等で西成を紹介している番組を見れば、西成区の様々な会社や店舗が出ているので、もっと紹介できる所があると思う。	—	ご意見を踏まえ、今後も区の魅力の発信に努めてまいりたいと考えております。	総合企画課
11	【意見票】 坂本委員	【まちづくりにかかる市営住宅の活用について】 若い世代が区内に居住してもらうためには、子育て環境の整備と住み続けたいと思わせる魅力ある地域社会の構築が必要であると思う。 そのために、西成区内の市営住宅の空き状況を把握し、若い世代の新婚生活支援と子育て世帯への支援等について、関係機関と意見交換を行うことで、新たな施策が見出せるのではないかと。 使われていない市営住宅の運営を再開・活用し、市営住宅の空きを少なくするように取り組んでいきたい。	—	いただいたご意見につきましては、市営住宅を所管する都市整備局へ情報共有させていただきました。	総務課